

図書館

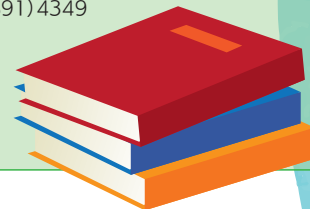
夏休みのイベント



	ゆいの森あらかわ ☎(3891)4349	あみせんじゅとしよかん 南千住図書館 ☎(3807)9221	おぐとしよかん 尾久図書館 ☎(3800)5821	まちやとしよかん 町屋図書館 ☎(3892)9821	にっぽりとしよかん 日暮里図書館 ☎(3803)1645
イベント名	つかもと 塚本やすしと あそびましょー	えほんさつ 絵本作家カワダクニコさん よみきかせ&ワークショップ ～へんしんおぼけ カードをつくらう～	おぐのよせ (尾久の寄席) こども落語	ブックサウルスの かせきをはくつ しよう!	でんしや 電車をつくらう
日時	8月24日(土) 午前10時～ 午後0時30分	8月4日(日) 午前10時30分～ 11時30分	8月9日(金)①午後1時 30分～2時30分 ②午後3時～4時	7月31日(水) 午後3時15分～ 3時45分	8月7日(水) 午後3時30分～4時
場所	1階ゆいの森ホール	地下1階視聴覚室	1階みんなのひろば	2階おはなしのへや	地下1階おはなしのへや
対象	くないざいせう 区内在住・在学の小学生	さいしやうがくせい 4歳～小学生(未就学児 は保護者同伴)	しやうがくせい 小学生	さいしやうがくせい 3歳～小学生(未就学児 は保護者同伴)	しやうがくせい 小学生
定員(申込順)	80人	25人	各30人	8人	10人
申込	7月21日(日)から図書 館ホームページ、1階総 合カウンター	7月21日(日)から図書 館ホームページ、2階カ ウンターまたは電話	7月21日(日)から1階 カウンターまたは電話	7月24日(水)から2階 カウンターまたは電話	とうじつ午後3時から 地下カウンター

なつやすみ
としよかん
スタンプラリー

期間●7月21日(日)～9月1日(日)
スタンプカードの配布場所●各図書館カウ
ンター・図書サービスステーション
対象●小学生以下の方
内容●スタンプカードに書いてあるクイズ
への回答や、本の貸し出し・イベントの参加
でスタンプを集めましょう。スタンプが5
個・10個集まったら景品をプレゼント!
※景品がなくなり次第終了
問合せ●ゆいの森課ゆいの森サービス係
☎(3891)4349



夏休み
子ども博物館

[申込・問合せ] 荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234

7月21日(日)午前8時30分から受付開始

※費用の記載のないイベントは無料です。

※会場の記載のないイベントは、荒川ふるさと文化館地下1階視聴覚室が会場です。

親子で楽しむ展示解説

会場●荒川ふるさと文化館1階常設展示室

日時●①7月27日(土)午後1時30分～2時30分

②8月31日(土)午後1時30分～2時30分

対象●小・中学生とその保護者 定員●なし(申込不要)

リトル学芸員

一日学芸員になり、博物館の仕事を体験!

日時●8月1日(木)午前9時30分～11時30分

対象●区内在住・在学の小・中学生 定員●10人(申込順)

俳句を作ろう

「五・七・五」のリズムで、オリジナルの俳句と俳画にチャレンジ。

日時●8月7日(水)午前9時30分～正午

対象●区内在住・在学の小・中学生 定員●15人(申込順)

勾玉作りにチャレンジ

石に穴を開けて縄文時代のアクセサリを作ろう!

日時●8月18日(日)①午前9時30分～11時30分②午後1

あらかわ職人道場

会場●荒川ふるさと文化館1階あらかわ伝統工芸ギャラリー

(1)ヒノキの箸を作ろう!

日時●8月24日(土)①午前11時～正午②午後1時30分～

2時30分 対象●区内在住・在学の小・中学生

定員●各回4人(申込順) 費用●500円(材料費)

(2)裏打ちを体験してみよう!

昔の人が書いた手紙の裏に和紙を貼って、カードを作ろう。

日時●8月25日(日)午前10時～正午 対象●区内在住・在

学の小・中学生 定員●5人(申込順)

モノフェス in にっぽり開催!

区の「モノづくり見学・体験スポット」と「日暮
里繊維街」のモノづくり体験が楽しめる出張
ワークショップイベントです。詳細は、チラシ・

荒川区ホームページをご覧ください。

日時●8月2日(金)、3日(土)午前10時～午後3時

会場●ふらっとにっぽり3階

問合せ: 観光振興課 ☎内線462

▶ほしみさき工房の
アルミコースター



ゴールボールO×クイズの答え

A1 × 隣かやや前に立ち、視覚障がいのある方がつかみやすいと
ころをつかんでもらいましょ
う。ゆっくり進むこと、具体
的な説明を心がけましょう。

A2 ○ パリ2024パラリンピックは
シッティングバレーボール・
柔道など、全部で22競技あ
ります。自分の好きな競技を
見つけてみよう!

A3 ○ 障がいの程度などによって、
白杖を持っていない方やサ
ングラスをかける方もいます。

あらかわ



ものがたり

あらかわの歴史と伝説

第152



「東京開化名所 三代徳川家
元公 三河嶋之景」部分(荒
川ふるさと文化館蔵)

さいしやうかい
最終回

「荒川区」の由来
～荒川区は荒川の賜物～

執筆・野尻さん >>>

問合せ/荒川ふるさと文化館

☎(3807)9234



19年間
ありがとう!

いよいよ最終回。ここで、おさらいクイズ!

「隅田川の昔の名前は何か?」答えは荒川。い
つも『区報ジュニア』を読んでいるから簡単
だって?さすが『区報ジュニア』推し、うれし
いね。ではもう一問。「荒川区の名前は、どう
して荒川なの?」改めて聞かれると難しいだ
ろう。それじゃあ、一緒に考えてみよう。

あらぶる川 前号の特集で、荒川放水路
(現在の荒川)と岩淵水門について学んだね。
字の通り「あらぶる川」で何度も洪水を起こし
たから、それを防ぐため大工事を行った。でも、
町に被害を及ぼす川を区の名前にするかな?

ちよっと、あらかわの歴史を振り返ってみようか。
桜草と野菜 江戸時代のあらかわでは、
江戸の人びとが食べる野菜を生産していた
よね。谷中生姜や三河島菜、汐入大根などが
有名だった。それに、尾久の原(今の町屋五
丁目、東尾久七丁目辺り)は、桜草の名所と

して知られていたんだ。なぜ、
美味しい野菜が採れ、可憐なお
花が咲いたのかな。

自然の恵みー土と水ー
野菜に欠かせないのが、土・水・
肥料・農具。用水や肥料、農具は
お金を投じれば何とかできるけど、

土はそうはいかない。荒川は何度も洪水
を繰り返していたよね。この時、上流から
肥沃な土が流れてくる。それに、砂も溜ま
り砂州ができるんだ。砂州は水はけが良
く、必要な湿り気があり、特に大根の栽培
にぴったりな土だったんだって。洪水は、
自然の恵みを与えてくれたんだね。

荒川と交通・工業 それに、橋場の渡
し、千住大橋が設けられ街道が整備され
るなど、あらかわは昔から水陸の交通が
はつてん 発達していたね。明治時代になると、川沿
いに近代の工場が進出してきた。昭和時
代の初めのころには、東京でも有数の工
業地帯として発展していったんだ。

荒川区は荒川の賜物 昭和7年
(1932)、荒川区が誕生した。荒川の恵み
により発達し、これからも発展を遂げてい
く町という意味が込められているんだね。

「エジプトはナイルの賜物」(エジプトはナ
イル川の恵みにより発展した)のように、
「荒川区は荒川の賜物」だったんだ。

「今昔ものがたり」は今回でおしまいだ
けど、これからも荒川区の今と昔について、
調べたり考えたりしてね。荒川ふるさと
文化館が応援するからね。